

BMXエリアと自転車公園の再開に関する手順

ロサンゼルス郡公衆衛生局（公衆衛生局）は、一般市民、すべての事業主、および地域組織に、企業と公共スペースの再開支援を呼びかけています。集団での「安全維持のための在宅命令」の取り組みを通じて、新型コロナウイルス感染症(COVID-19) の新規症例と入院者数の減少に成功し、日常生活の多くの側面で段階的再開を可能にしました。

この移行を促進するため、公衆衛生局はすべてのBMXエリアと自転車公園（バイクパーク）運営者に、復旧計画に沿って再開に向けた計画を立てるための適切な手段を講じるようご協力をお願いします。以下の項目は、バイクパークにて労働者や利用者が病気への危険性を減らすために重要なもので対応する必要があります。

- (1) 従業員と利用者の健康の保護とそのサポート
- (2) 適切な物理的距離の維持
- (3) 適切な感染管理の実行
- (4) 市民とのコミュニケーション
- (5) サービスへの平等なアクセスの確認

これらの重要点は以下のチェックリストに組み込まれており、バイクパーク再開へ向けて必要な手順として実装する必要があります。

すべてのバイクパークは、以下の適用可能な対策をすべて実装し、実装されていない対策に関しては、適用されない理由を説明する準備ができていなければならない必要があります。

バイクパーク名:

住所:

A. 推奨される規制

- 人と常に6フィートの物理的距離をとる。
- 常にフェイスカバーを着用する。
- 施設運営者は、BMXエリア、バイクパークへの入り口はそれぞれ一列並びで、人と人の間に6フィートの距離があることを確認する。
- レンタルを提供しない。
- プライベートレッスンは物理的距離を実践した形でのみ許可する。2名以上のグループレッスンを行わない。
- トーナメントを禁止にする。
- ドア、入口、ゲートは、通常の営業時間中は開いたままにする。
- 料金の支払いは、オンラインで行うか、屋外に面した窓やドアを利用して行う。
- 食べ物と飲み物は持ち帰りで提供し、ロサンゼルス郡公衆衛生命令とその手順に従う。

従業員またはスタッフが現場にいる場合：

- すべての従業員は、体調不良の場合あるいはCOVID-19を罹患している人に曝露された場合は、出勤しないように指示されている。従業員は、自己隔離と検疫に関する公衆衛生局のガイダンスに必要な応じて従うことを理解している。従業員が病気で自宅にいても処罰を受けることがないように、職場休暇方針が見直され、修正されている。
- 一人以上の従業員にCOVID-19の陽性反応が出た場合や、一致する症状が出たことを把握した際、雇用主はその感染者を自宅隔離させ、その感染者と職場で曝露があった全従業員に即時自己検疫を行うよう要求する計画や手順を用意している。COVID-19に対するさらなる管理対策を必要とする職場での曝露があったかどうかを確定するため、検疫中の全従業員にCOVID-19検査を受けさせる手順を検討する必要があります。
- 症状の確認は従業員が職場に入る前に行っている。症状の確認には従業員が経験している咳、息切れ、発熱、その他の症状が含まれる必要がある。これらの確認は、遠隔、または従業員の到着時に直接行うことができる。可能であれば検温は現場で行う。
- シフト中に公衆や他の従業員と接触するすべての従業員に無料で布製のフェイスカバーを提供する。従業員は就業中、他人と接触するまたは接触する可能性がある場合、フェイスカバーを常に着用する。個室のオフィスや仕切りに囲まれた席に一人である場合、従業員はフェイスカバーを着用する必要はない。
- 従業員はフェイスカバーを毎日洗うように指示されている。
- 従業員に、以下のような個人的予防措置を守ることを改めて注意する。
 - 病気の場合は自宅待機する。回復後少なくとも3日間（72時間）自宅待機する。回復とは解熱剤を使用しない状態で発熱が治まり、咳、息切れなどの呼吸器症状が改善して、かつ症状が現れてから少なくとも10日が経過したことを意味する。
 - こまめに、石鹸と水で少なくとも20秒間手を洗う。石鹸と水が利用できない場合は、アルコール濃度60%以上の手指消毒剤を使用する。食事前、トイレを使用した後、咳やくしゃみをした後は手を洗う。
 - 咳やくしゃみをティッシュペーパーで覆い、ティッシュペーパーを捨ててすぐに手をきれいにすること。ティッシュがない場合は、手ではなく肘を使う。

- 洗っていない手で口、目、鼻を触らない。
- 病気の人との接触を避ける。
- 電話やその他の機械を共有しない。共有する必要がある場合は、共有の前後に、必ず消毒剤で拭く。
- 他のスタッフと常に距離を保つ。他人と一緒に作業をする際、特定の作業の割り当てで身近な距離での作業が必要な場合を除き、常に他者と最低6フィートの距離をとり、布製のフェイスカバーを着用する。
- ワークステーション、キーボード、電話、手すり、機械、共有デバイス、ドアノブなど、頻繁に触る物体や表面を営業時間中に1時間ごとに消毒すること。
- この手順のコピーはすべての従業員に配布されている。

B. メンテナンス手順

- 数人での集まりを禁止し、ベンチやテーブルを撤去するなど利用禁止にする。
- 共有するものは定期的に消毒する。
- 共有する機器は、使用の前後に消毒する。
- トイレは定期的に消毒する。
- 飲用噴水は、ボトルでのみ使用可能にする。

C. 監視手順

- 感染管理、物理的距離措置、およびフェイスカバーの使用に関する指示や情報の標識を施設全体に掲示する。
- 施設運営者は利用者が制限を順守していることを監視するため毎日定期的に訪問する。
- 利用者はこれらの制限を順守しない場合退去を求められる。

企業は、上記に含まれていない追加の対策を別紙に記載し、本文書に添付してください。

この手順に関するご質問やコメントは、以下の連絡先までお問い合わせください。

バイクパーク

連絡先:

電話番号:

最終更新日:
